

足羽ポンプ場 大規模雨水処理施設整備事業計画（福井市）

（様式1）

項目	内容・施策等
選定理由	<p>現在の足羽ポンプ場は、昭和26年の供用開始から既に70年が経過しており、老朽化した施設であることから、排水能力向上による浸水被害の軽減を図るため、集中的なポンプ場の全面更新を実施する必要がある。また、同排水区内にある木田ポンプ場も供用開始後57年経過し老朽化していることから、足羽ポンプ場の更新に併せて廃止し排水機能を足羽ポンプ場に統合する。</p>
整備目標	<p>本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：43.1mm/h ・目標とする理由：実験式から合理式の5年確率降雨へ見直し、雨水排水能力を4.800m³/sから8.635m³/sに増強する。 ・ハード整備による整備水準の目標：43.1mm/h <p>目標設定</p> <ul style="list-style-type: none">)生命の保護の観点：当該排水区の浸水被害を防止する。)都市機能の確保の観点：乗物の移動限界水深である 20cm 程度を目安とする。)個人財産の保護の観点：床上浸水を防止するためには 45cm 程度以下を目安とする。 <p>ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none">)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 施設整備により 43.1mm/h の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。)ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 住民の自助・共助の防災意識向上を図るための啓発活動や説明会を行うとともに、補助制度等（雨水貯留タンクや止水板の設置）の整備、土のう配布、情報の提供・共有の強化及び活用などを行い、対象降雨を超える降雨が生じた際、浸水被害の最小化を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 (平成 19 年 6 月策定済み)			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水ポンプ場の整備 排水能力 8.635m ³ /s ・ 雨水管渠の整備 延長 1,200m
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップの作成・公表 ・ 降雨情報の収集と提供 ・ 水防体制 ・ 出前講座等
			下水道管理者以外	・ 福井減災プロジェクト
	自助	ハード対策		・ 土のう配布 ・ 雨水貯留タンクの設置（福井市浸水防除施設設置費補助金交付要綱） ・ 止水板の設置（福井市浸水防除施設設置費補助金交付要綱）
		ソフト対策		・ 避難訓練（福井市企業局）

名称	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
足羽ポンプ場	195	20	600	3,510	4,620	4,994	4,660	250	630	19,479
計	195	20	600	3,510	4,620	4,994	4,660	250	630	19,479

年度計画（百万円）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置から 70 年が経過している足羽地区の足羽ポンプ場施設について、雨水排水機能を適切に確保する。(8.635m³/s 1/5 対応) ・ 機能向上を伴う場合：雨水排水能力を 4.800m³/s から 8.635m³/s に増強する。 <p>ソフト対策，自助の整備効果等：</p> <p style="padding-left: 2em;">住民の自助・共助の防災意識向上を図るための啓発活動や説明会を行うとともに、補助制度等（雨水貯留タンクや止水板の設置）の整備、土のう配布、情報の提供・共有の強化及び活用などを行い、対象降雨を超える降雨が生じた際、浸水被害の最小化を図る。</p>
放流先河川との調整状況	<p>放流先である一級河川足羽川の管理者である福井県河川課と放流量については調整済み。</p>
その他	<p>平成 27 年に「福井市下水道雨水対策基本計画」を策定し、令和 4 年に改定した。</p>

足羽ポンプ場 大規模雨水処理施設整備事業（福井市）

縮尺1/10,000

凡 例	
	排水区域
	緊急輸送道路
	防災拠点
	ポンプ場更新箇所

